

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	すいか(ハウス) 60a、すいか(前進中型トンネル)50a、すいか(大型トンネル)20a、シンテッポウユリ(抑制)12、ストック48a、ブロッコリー50a
自家労働	3人
その他	共同選果場を利用 鳥取型低コストハウスは補助事業活用(1/2補助)

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		△◎————□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F) × (G) × 利率
農具舎	木・瓦	50 m ²	3,150,000	25	787,500	787,500	15	52,500	8	367,500	100	14,700
鳥取型低コストハウス	6m×50m	10 棟	8,775,000	50	4,387,500	4,387,500	10	438,750	5	2,193,750	100	87,750
パイプハウス	6m×50m	10 棟	19,500,000	50	9,750,000	9,750,000	10	975,000	5	4,875,000	100	195,000
トラクタ	4WD 25ps	1 台	2,870,640	25	717,660	717,660	7	102,523	4	307,569	100	12,303
ロータリ	160cm	1 台	475,200	25	118,800	118,800	7	16,972	4	50,914	100	2,037
土壌消毒機	4条	1 台	475,200	25	118,800	118,800	7	16,972	4	50,914	100	2,037
管理機	6.3ps	1 台	298,000	25	74,500	74,500	7	10,643	4	31,929	100	1,277
動力噴霧機	可搬式6.3ps	1 台	281,880	25	70,470	70,470	7	10,067	4	30,201	100	1,208
運搬車	クローラ式4.2ps	1 台	308,880	25	77,220	77,220	7	11,032	4	33,094	100	1,324
マルチはぎとり機		1 台	189,000	46	87,129	87,129	7	12,447	4	37,341	100	1,494
普通トラック	1.5t	1 台	2,230,000	25	557,500	557,500	5	111,500	3	223,000	100	8,920
軽トラック	660cc	1 台	1,050,000	25	262,500	262,500	4	65,625	2	131,250	100	5,250
合計			39,638,300		17,018,204	17,018,204		1,825,262		8,336,158		333,446

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
すいか	春のだんらん・祭ばやしRG	ハウス	6,000kg	黒ぼく畑	60a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
土 壤 消 毒	12/中	ソイリン (2年に1回)	30ℓ	トラクタ ロータリ 土壤消毒機	○土壤病害、センチュウ害の多い場合に土壤消毒を実施する。	1.0	1	1.0	軽油 6.5
ハウス被覆	2/上				○ハウス被覆は、P O系使用の場合5年に1回程度交換を行う。	1.0	1	1.5	軽油 6.5
土壤改良資材 施用	2/上	発酵堆肥 セルカフレンド	2 t 140kg	トラクタ ロータリ	○改良資材を施用し、ガス抜きを兼ねて丁寧に耕うんする。	1.0	2	5.0	軽油 6.5
基 肥 施 用	2/中	MS 8 8 5 がいな有機 ダイアジノン粒剤	30kg 100kg 4~6kg		○基肥を施用し、耕うんする。 ○有機物の投入が多い場合は、ダイアジノン粒剤4~6kgを定植部分1 m幅に土壤混和する。	1.0	2	3.0	軽油 6.5
整地・畦たて 除草剤施用	2/中	ルマト乳剤	200ml	管理機	○畦の中央を高くして、カマボコ型に整地する。	2.0	2	6.0	ガソリン 2.0
マルチ・トン ネル	2/下	灌水チューブ 透明マルチ トンネル支柱 トンネルビニール	666m 333m 167本 333m		○定植位置付近と、ハウスの端の中間付近に灌水チューブを設置する。 ○灌水を行い、床が湿った状態でマルチを張り、トンネル被覆を行い地温を確保する。		2	2.0	
定 植	3/上	西瓜苗 ダイヤキャップ	420本 420枚	軽トラック	○地温を確認後、植穴を切り、苗を植え付け、ダイヤキャップを活着までかける。	1.0	3	8.0	ガソリン 2.2
整枝・つる配置	3/下~4/中				○良くそろったつるを4本残す。草勢を見ながら18節前後の雌花までに2~3回つるの整理と配置を行う。 18節前後の雌花がつる先に見えた頃に最終のつる引きを行う。		2	10.0	
換 気	3/中~5/下				○子づるが10 cm程度伸びた頃より花芽分化するので高温にならないように換気する。 ○交配までは日中の換気によりじっくり生育させる。 ○交配前後は保温に努め、着果・果実肥大を進める。 ○肥大中期以降、草勢低下につながる蒸し込みにならない温度管理を行う。		2	8.0	
交 配	4/中~4/下	交配用ミツバチ クレパス	3箱 10本		○着果節位は草勢が整えば18節前後で着果させる。 ○ミツバチと人工交配を併用する。 ○交配日がわかるように、クレパスなどで色分けを行う。		2	8.0	
摘果・玉直し シート敷き	5/中~5/下	シート	840枚		○果実が鶏卵大になった頃、形の良いそろったものを1株当たり2果残す。 ○交配後2~3週目頃にシートを敷く。		2	16.0	
灌 水	5/上			灌水装置	○着果後、肥大期に灌水を行う。 ○収穫20日前頃には灌水は控える。		1	2.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
防 除	3/下～5/下	ベルコート水和剤 カンタスDF ジマンダイセン水和剤 チェス顆粒水和剤 ダコニール1000 ウララDF ロブラール水和剤 アトラコール顆粒水和剤 アグラール	300g 300g 333g 40g 250cc 125g 250g 832g 125cc	動力噴霧機 軽トラック	○病害は予防散布、害虫は発生初期の防除に重点を置いた散布を行う。	12.0	2	16.0	ガソリン 12.0
収 穫	6/上～6/中			運搬車 普通トラック 軽トラック	○交配後50日前後を目安に検査をして収穫する。	2.5 2.5	3	40.0	ガソリン 5.0 ガソリン 2.0
後 片 づ け	6/下			軽トラック	○茎葉は収穫終了後、早めに抜き取り乾燥して焼却などして処分する。	2.0	3	16.0	ガソリン 2.0
合 計								189.5	

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,224,000	生産量① : 6,000 kg 単価② : 204 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 :	
	主産物価額	0	生産量 :	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,224,000		
生産原価	種 苗 費	67,578		
	肥 料 費	30,733	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	35,542	〃	
	諸 材 料 費	135,397	〃	
	動力光熱費	8,641		
	農 具 費	14,315	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	43,075	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	3,863		
	雇 用 労 賃	13,410		
	減価償却費⑤	304,210	別表のとおり	
	土地改良費	3,542		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	660,307		
費	販売費一般	出荷資材費	56,228	
	管理費	販 売 諸 費	262,545	
		諸税負担金	3,463	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	2,353	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	0	借入資本利子率2%
		小計 (C)	324,589	
経 営 費 (D)	984,895	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	230,750	農 従 労 働 時 間 : 174.6 生産管理労働時間 2.9 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,215,645	主産物単位当たり 203 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	18,229	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	55,574	利子率4%	
自 作 地 地 代 (G)	4,392			
全算入生産費 (H)	1,293,840	生産物単位当たり 216 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	239,105	時間当たり 1,347 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	20	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-69,840	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	160,910	時間当たり 907 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	8,355	注) (M) = (I) -⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
土壌消毒																																				2.5		2.5
ハウス被覆				12.0																																		12.0
土壌改良資材施用				5.0																																		5.0
基肥施用					3.0																																	3.0
整地・畦づくり					6.0																																	6.0
除草剤施用、マルチ・トンネル張り						10.0																																10.0
定植							8.0																															8.0
整枝・つる配置									10.0	12.0	8.0																										30.0	
換気								1.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	1.0																						15.0	
交配										4.0	4.0																										8.0	
摘果・玉直し・シート敷き														8.0	8.0																						16.0	
灌水													2.0																								2.0	
防除									4.0	4.0		4.0		4.0																						16.0		
収穫																30.0	10.0																				40.0	
後片づけ																		16.0																			16.0	
																																				0.0		
																																				0.0		
																																				0.0		
																																				0.0		
																																				0.0		
																																				0.0		
																																				0.0		
																																				0.0		
																																				0.0		
計	0.0	0.0	0.0	17.0	9.0	10.0	8.0	1.0	16.0	14.0	18.0	7.0	8.0	10.0	13.0	30.0	10.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	189.5	